

外国人客 初の1000万人

今年、観光局見通し 円安・ビザ緩和が奏功

日本政府観光局は11日、今年日本を訪れる外国人客が初めて1千万人を超える見通しだと発表した。11月末までに949万9千人が訪れ、今月中に1千万人に達するペースという。円安に加え、ビザを緩和した東南アジアからの訪日が急増した。政府は2003年に「10年に1千万人」と目標を掲げており、3年遅れの達成となった。

「ディスカウント プリーズ」「イツ エクスペンシブ」
11日夕、銀座の中心部にある免税店「ラオックス銀座本店」で、インドネシアからの家族連れが店員と日本製腕時計の値下げ交渉をしていた。

次々とツアーバスが横付けし、外国人客が店に流れ込む。11月末にオープンし、客の9割は中国、東南アジアなどの外国人。従業員も7割以上が外国人で、15の言語に対応する。10万円超の貴金属や時計、家電などが売れ筋だ。店長の小山修さん(40)は「外国人は『銀座で買う』ということに価値を感じるようだ」と喜ぶ。

政府の念願だった「訪日客1千万人」を達成できるのは昨年後半からの円安に加え、ビザを免除したり、取得しやすくしたりした東南アジアからの旅行客増が主な要因だ。

1～11月の合計では、タイが39万7600人で前年比69・1%増、ベトナムが7万9300人で同53・5%増。インドネシア、マレーシア、シンガポールもそれぞれ3割以上増えた。高所得者層が、日本製の家電製品や化粧品を買いに訪れているとみられる。

日本経済新聞

日本を訪れる外国人の数が今年、初めて1000万人の大台を超す見通しとなった。日本政府観光局が11日発表した11月の訪日外国人客数は前年同月比29%増の84万人だった。1～11月の累計では約950万人で、「今月中旬以降に1000万人を達成できる」(久保成人観光庁長官)。円安効果に加え、中国からの客足の回復も効いた。

11月の訪日客数で最多は台湾で44%増の17万7900人。2.1倍のタイや73%増のマレーシアなど、7月に観光査証(ビザ)の発給要件を緩和した東南アジアからの訪日客も急増した。

中国も96%増の10万1900人と伸びが目立った。昨年9月の沖縄県・尖閣諸島の国有化後は低迷したが、今年9月にプラスに転換。3カ月連続で前年同月を上回った。

訪日客増加は景気を下支えしている。ホテルオークラ東京(東京・港)では11月の客室稼働率が前年同月比14.8ポイント上昇の93.5%となり、リーマン・ショック前の水準を回復した。外国人比率はほぼ50%で、全体の稼働率を10ポイント強押し上げたという。

高島屋では11月の外国人向け売上高が前年同月比75%増えた。このうち3割を回復傾向の中国人が占める。バッグなど海外高級ブランドの購入が目立つという。居酒屋「北海道」などを運営するコロワイドは「外国人客の予約は前年の3倍以上になっている」と説明する。

訪日客が1000万人になると、名目国内総生産(GDP)は2.6兆円増え、2012年比でGDPを0.1%分押し上げる見通し。お隣の韓国を訪れた外国人観光客は今年1200万人を突破する勢い。政府は東京五輪を開催する20年を念頭に訪日客数を年2000万人に増やす目標だ。

訪日客は10カ月連続で過去最高を更新した。久保成人・観光庁長官は11日の会見で、「円安で日本への旅行に割安感が出ている。次は2千万人を目指したい」と意気込んだ。

■「20年2000万人」へ地ならし

政府が外国人客を増やしたいのは、国内でお金を使ってもらうことが経済の活性化につながるからだ。

観光庁の試算では、12年に訪日外国人が使った総額は1兆861億円。政府は6月、成長戦略の一つとして30年に訪日客数3千万人という新たな目標を掲げた。ただ、日本の外国人客数は世界で33位(12年)。1位フランスの約1割で、1114万人で23位の韓国にも後れをとっている。

政府は来年度から外国人に人気の化粧品や食品を新たに免税品対象にするほか、数年以内に海外のクレジットカードで現金自動出入機(ATM)から現金を引き出せるようにする。東京五輪を追い風に、まず20年に2千万人を達成したい考えだ。

11年に行った調査で、訪日客が最も不満に感じていた「無線LAN環境の少なさ」(36・7%)は徐々に改善されているが、2位の「コミュニケーション」(24・0%)の改善はすぐには難しい。また訪日客の3分の1は韓国と中国が占めており、政府間の関係がさらに悪化すれば、訪日客が急激に落ち込む可能性もある。(木村聡史)

訪日外国人客数の推移

